

令和6年度大崎市民病院経営強化プランの実績評価

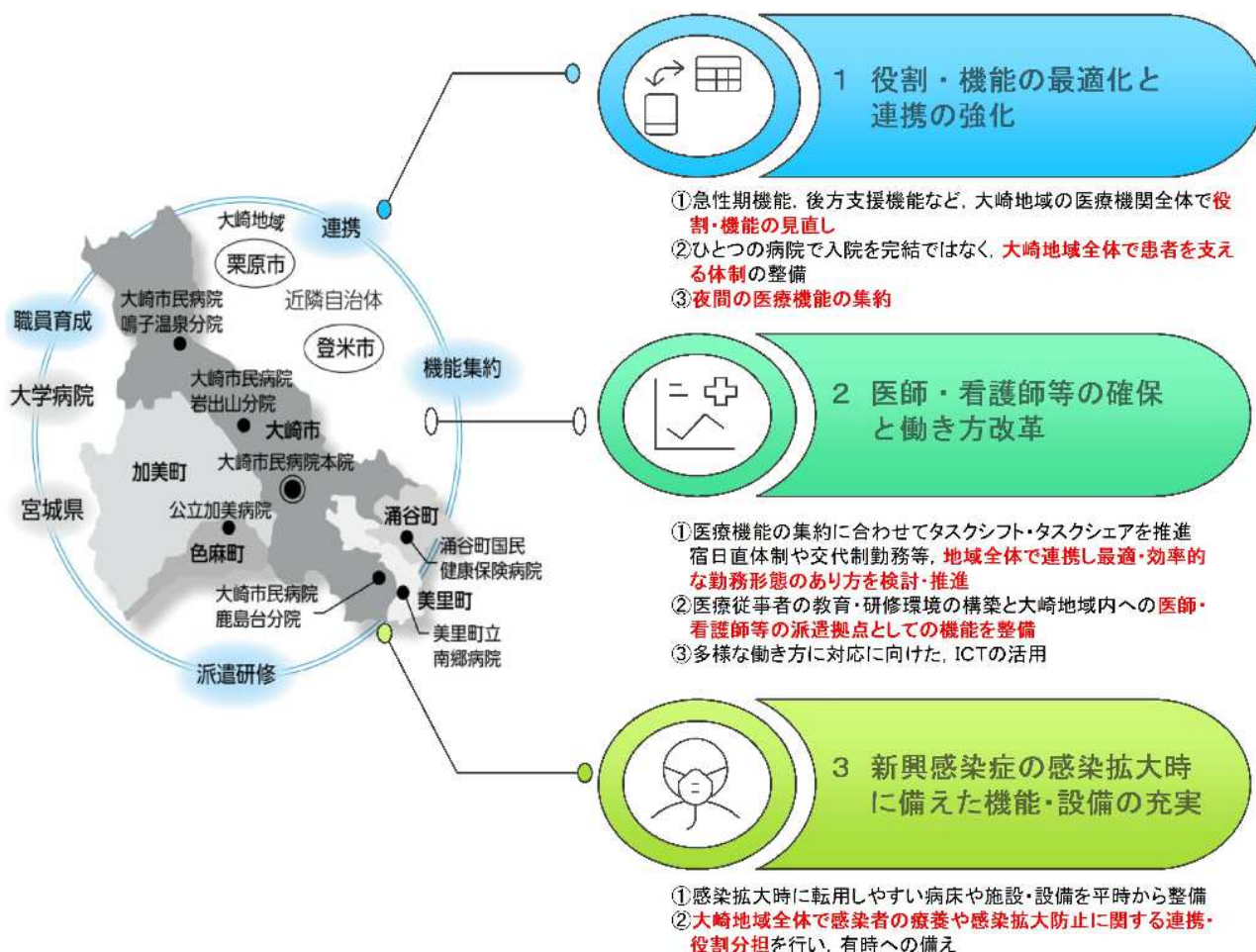
1 大崎市民病院経営強化プランの概要

大崎市民病院経営強化プランは、国が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和6年3月、大崎市が策定した計画です。

本プランでは、上ガイドラインが求める6つの内容（①役割・機能の最適化と連携の強化、②医師・看護師等の確保と働き方改革、③経営形態の見直し、④新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組、⑤施設・設備の最適化、⑥経営の効率化等）について、地域等の実情に応じ取組内容を定め、令和6年度から令和9年度までにおいて計画的に推進してゆくこととなっております。

2 大崎地域における医療提供体制の目指す姿と構成市町の取組

令和5年10月、大崎地域を構成する1市4町（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）は、本地域における医療提供体制の目指す姿の実現に向けて、連携協約を締結しました。この目指す姿と取組内容は、各市町が策定する各経営強化プランにそれぞれ記載されました（大崎地域における医療提供体制の目指す姿のイメージ及び各取組（主なもの）については次の図をご覧ください）。



3 数値目標の達成状況

(1) 医療機能・医療の質

評価項目	目標値	実績値	結果	達成度 (%)
救急応需率	95.0 % 以上	94.8 %	×	99.8
手術件数（手術室実施分）	5,400 件 以上	5,568 件	○	103.1
外来化学療法件数	10,500 件 以上	11,414 件	○	108.7
入院患者満足度※	85.0 % 以上	85.2 %	○	100.2
論文発表・学会発表数	150 件 以上	164 件	○	109.3
専門又は認定看護師資格取得者数	17 人	16 人	×	94.1
総合診療医数	5 人	6 人	○	120.0
計	—	—	5/7達成	71.4

※ 外来患者満足度と表記しておりましたが、入院患者満足度の誤りでしたので、訂正しております。

(2) 連携強化・医療従事者の確保等

評価項目	目標値	実績値	結果	達成度 (%)
紹介率	75.0 % 以上	81.07 %	○	108.1
逆紹介率	85.0 % 以上	97.36 %	○	114.5
連携医療機関（大崎地域の公立病院）への逆紹介率割合の増加率	6.5 p 以上	2.3 p	×	35.5
臨床研修医の受入人数	19 人	19 人	○	100.0
こどもサポート医登録施設数	43 件 以上	46 件	○	107.0
大崎地域全体での研修会等実施件数	15 件 以上	15 件	○	100.0
計	—	—	5/6達成	83.3

(3) 経営の効率化 数値目標

評価項目		目標値	実績値	結果	達成度 (%)
病院事業	経常収支比率	94.4 % 以上	96.2 %	○	101.9
	医業収支比率	90.2 % 以上	91.3 %	○	101.2
	修正医業収支比率	87.0 % 以上	88.3 %	○	101.5
	材料費（薬品費含む）対修正医業収益比率	34.1 % 以下	35.8 %	×	95.3
	委託費対修正医業収益比率	12.2 % 以下	11.8 %	○	103.4
	給与費対修正医業収益比率	55.2 % 以下	53.3 %	○	103.6
	計	—	—	5/6達成	83.3
本院	病床稼働率	81.4 % 以上	79.39 %	×	97.5
	新入院患者数	14,216 人 以上	14,039 人	×	98.8
	一日平均患者数（入院）	407.0 人 以上	396.9 人	×	97.5
	平均診療単価（入院）	84,645 円 以上	89,388 円	○	105.6
	一日平均患者数（外来）	1,092.0 人 以上	1,107.5 人	○	101.4
	平均診療単価（外来）	28,395 円 以上	30,199 円	○	106.4
	平均在院日数	9.5 日 以上	9.3 日	×	97.9
	計	—	—	3/7達成	42.9

評価項目		目標値	実績値	結果	達成度(%)
鳴子温泉分院	病床稼働率	75.0 % 以上	79.10 %	○	105.5
	新入院患者数	424 人 以上	407 人	×	96.0
	一日平均患者数（入院）	30.0 人 以上	31.6 人	○	105.3
	平均診療単価（入院）	33,492 円 以上	33,784 円	○	100.9
	一日平均患者数（外来）	68.0 人 以上	56.6 人	×	83.2
	平均診療単価（外来）	6,989 円 以上	6,760 円	×	96.7
	平均在院日数	24.9 日 以上	27.2 日	○	109.2
	計	—	—	4/7達成	57.1
岩出山分院	病床稼働率	87.5 % 以上	85.5 %	×	97.7
	新入院患者数	517 人 以上	488 人	×	94.4
	一日平均患者数（入院）	35.0 人 以上	34.2 人	×	97.7
	平均診療単価（入院）	34,652 円 以上	34,606 円	×	99.9
	一日平均患者数（外来）	93.0 人 以上	91.1 人	×	98.0
	平均診療単価（外来）	7,255 円 以上	6,266 円	×	86.4
	平均在院日数	23.2 日 以上	24.8 日	○	106.9
	計	—	—	1/7達成	14.3
鹿島台分院	病床稼働率	78.1 % 以上	86.0 %	○	110.1
	新入院患者数	472 人 以上	436 人	×	92.4
	一日平均患者数（入院）	45.3 人 以上	34.4 人	×	75.9
	平均診療単価（入院）	28,424 円 以上	34,372 円	○	120.9
	一日平均患者数（外来）	136.5 人 以上	125.0 人	×	91.6
	平均診療単価（外来）	7,568 円 以上	7,700 円	○	101.7
	平均在院日数	34.2 日 以上	29.1 日	×	85.1
	計	—	—	3/7達成	42.9
田尻診療所	一日平均患者数（外来）	44.0 人 以上	44.3 人	○	100.7
	平均診療単価（外来）	6,697 円 以上	6,484 円	×	96.8
	計	—	—	1/2達成	50.0
健康管理センター	一日平均患者数（外来）	4.1 人 以上	3.7 人	×	90.2
	一日平均患者数（健診）	65.1 人 以上	69.7 人	○	107.1
	平均診療単価（外来）	13,568 円 以上	14,151 円	○	104.3
	平均診療単価（健診）	21,717 円 以上	21,262 円	×	97.9
	計	—	—	2/4達成	50.0

注）数値目標以外の取組事項に係る実績等については、9 頁の資料をご覧ください。

4 取組実績に対する総括

実行初年度である令和6年度においては、本院、分院、診療所がそれぞれの役割のもと、地域の医療機関や関係機関と連携し、役割分担を図りながら、その取組を推進して参りました。

その結果、数値目標の達成状況では、

「医療機能・医療の質」で 7項目中5項目（71.4%）

「連携強化・医療従事者の確保等」で 6項目中5項目（83.3%）

「経営の効率化」で、事業全体として 6項目中5項目（83.3%）

の達成となりました。

このほか、機能分化・連携強化、住民の理解に向けた取組、地域医療連携拠点施設整備、医療資源の共有等、それぞれにつき着実な実行を心がけながら、調査、検討、施行等を行いました。

今後の取組としましては、

- ・地域医療連携拠点施設に係る本体工事着工等（令和8年度竣工予定）
- ・大崎市夜間急患センターの移転開設等に向けた検討（令和9年度運営開始予定）
- ・地域の医療機関等との機能分化・連携強化の取組
- ・働き方改革への対応等の取組
- ・経営形態の見直しに係る調査検討 等

を予定しているところです。

引き続き、大崎地域における医療提供体制の目指す姿の実現に向け、励んでまいります。

令和6年度経営強化プラン実績評価について (大崎地域における医療提供体制の目指す姿の実現に向けた取組)

計画期間：令和6～9年度（1年度目）

役割・機能の最適化と連携の強化

① 機能分化・連携強化

大崎地域（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）1市4町で連携協約を締結

※ 大崎地域の自治体病院連携イメージ図



大崎市民病院

【基幹病院】

地域医療支援病院
救命救急センター等
高度急性期・急性期
を担当

急性期：病気や怪我の症状が強く、急速に進行する時期
高度急性期：急性期のうち、特に診療密度の高い医療を提供することが必要な時期

役割分担
患者の紹介/逆紹介

③ 職員派遣の実施
(基幹病院から構成病院へ)

【構成病院】

かかりつけ医機能等
回復期・慢性期を担当

位置関係	開設自治体等	構成病院等名
西部	大崎市	鳴子温泉分院
		岩出山分院
	加美町 色麻町	公立加美病院
東部	大崎市	田尻診療所
		鹿島台分院
	涌谷町	涌谷町国保病院
	美里町	美里町立南郷病院

回復期：在宅復帰に向けた医療やリハビリ等を要する時期
慢性期：長期にわたって療養が必要な時期

住民の理解に向けた取組

主な取組実績

- ・「市民病院だより」年4回発行（市内全戸配付）
- ・病院広報誌「つながり」年4回発行
- ・各分院・診療所だよりの発行
- ・感染症予防や救急受診の啓発記事の掲載

地域医療連携の拠点となる施設の整備

④ 遠隔医療等の利用

オンライン診療、カンファ可能な専用室を2室整備

地域医療連携拠点施設
(令和8年度竣工予定)



大崎市民病院敷地内に新設

3階	講義室、研修室、実習室、オンライン診療室
2階	管理諸室、当直室
1階	夜間急患センター 感染症対応スペース

医師・看護師等の確保と働き方改革への対応

- ・教育・研修環境の拡充
- ・職員派遣の拠点機能の整備 ← 拠点施設にて対応
- ・最適・効率的な勤務形態のあり方の検討
- ・ICT等の活用 等

主な取組実績

令和7年1月 基本設計完了
(令和7年6月 実施設計完了)

⑤ 医療資源の共有

主な取組実績

共同購入等 令和7年度開始に向けてコンサルティング業者委託費用を予算計上

経営形態の見直し

主な取組実績

令和6年5月、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構「日本海総合病院」視察

施設・設備の最適化

主な取組実績

- ・電子カルテバージョンアップ（本院）
- ・電子処方箋システム導入
- ・検体検査システム更新
- ・AI画像診断システム導入 等

⑥ 新興感染症発生時等への備え

新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組

- ・大崎地域における感染症の相談、診療支援機能を発揮するため、令和7年4月より「感染症科」を設置した
- ・現在の感染症外来機能を拡大。
- ・発熱外来、トリアージスペース等を常設予定

② 夜間における診療体制の整備

大崎市の夜間急患センターを移転。
現在の対応時間（19:15～22:00）に加えて、22:00以降の一次診療にも対応。
令和9年度運営開始予定。